

深日漁港干潟における「第 17 回大阪湾生き物一斉調査」の概要

- 日 時 令和6年6月8日（土）10:00～11:50
- 場 所 深日漁港干潟（大阪府泉南郡岬町深日）
- 主 催 大阪湾生き物一斉調査実行委員会
（事務局：国土交通省近畿地方整備局神戸港湾空港技術調査事務所）
- 調査団体 岬町立岬中学校科学部、CIFER・コア
- 観察指導 石田 惣（大阪市立自然史博物館）
- 参加者数 12名（うち、生徒8名、顧問1名、観察指導1名、CIFER・コア2名）

大阪市立自然史博物館の石田 惣先生の指導のもと、岬中学校科学部員8名とともに生き物調査に参加しました。昨年は雨天中止となったため、1、2年生にとって深日漁港干潟での初めての調査となりました。

この干潟にはハマダイコンの見事な群落があり、例年の調査では花が残っていることもありますが、今年はすっかり花が落ち、アブラナ科特有のサヤ状の果実をつけていました。

みなさん熱心に調査をしてくれて、31種類の貝類、カニ類を見つけることができました。残念ながらハクセンシオマネキの姿は確認できませんでしたが、東側の斜面ではアカテガニやカクベンケイガニなど陸生のカニも見られました。

参加した生徒さんから「生き物がたくさんいて楽しかった」、「生き物をたくさん知ることができた」などの感想が寄せられ、多くの生徒さんが「また参加したい」と言ってくれました。

※調査結果は他地点の結果と合わせ、大阪湾生き物一斉調査の情報公開サイトで公表されます。



▲生き物の採取



▲ハマウド



▲ハマサジ



▲石田先生の解説を聞く参加者



▲種の同定作業



▲アカテガニなど